

令和4年度

令和5年3月10日



遷喬小だより

3月号③

学校教育目標 **自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成**

学校スローガン **TEAM遷喬 PRIDE遷喬 ~子どもも 教師も 地域も 伸びる学校~**

学校評価について

本校の取組について「学校運営協議会」にて学校評価をしていただきました。

保護者アンケートの結果や学校からの報告書をもとに、「学び合う子・支え合う子・鍛え合う子」の3項目についてそれぞれご意見や評価をいただくとともに、総合所見としてのご意見をまとめていただきました。

本校の取組に対して、成果と課題をご指摘いただき、来年度の方向性も見えてきたように思います。本当にありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様にも学校評価を一読していただけたらと思います。

【知】 学び合う子

- ・ チャイムスタート、聴く姿が定着し、集中して授業に取り組んでいる。
- ・ 「聴き合う」「表現し合う」姿を教師と児童とで共有し、学年ごとに掲示したり、様々な学習場面で「聴き合う」「表現し合う」姿を教師も児童も意識して取り組んだりしてきた事で、大きな成果を上げている。
- ・ ペア学習やグループ活動や全体学習の場面などで、相手の意見を聞いたり、自分の考えを表現したりする機会をもつことで、学び合いの授業につながっている。
- ・ 児童が根拠を明らかにして自分の考えを表現したり、児童の思考が深まり新しい考えを広げたりすることができるためには、教材研究をしっかりとって、授業改善を行ってほしい。
- ・ 自分の考えを表現することが苦手な児童への具体的な手だてを考え、実践してほしい。

【徳】 支え合う子

- ・ 学習場面だけでなく学校行事においても、学年ごとにめあてをもたせ活動を行っている。また、活動の様子を教室に掲示したり、学習の振り返りを行ったりすることで、児童が自主的・主体的に取り組むことができている。
- ・ 高学年が下学年のモデルとなるような行動をとることで、児童の主体性やリーダーシップが育っている。
- ・ あいさつは登校班によって差がある実態がある。いつでも、どこでもあいさつできる児童を目指して、地域と連携しながら取り組んでほしい。

- ・ 長欠不登校対応については、ケースに応じて適切に行われている。社会環境も複雑になり、難しいところもあると思われるが、担任だけで抱え込まないよう、関連機関とも連絡を取りながら、引き続き細やかな対応をしてほしい。

友だちのいいところ見つけと並行して、自分のいいところも見つけて、自己肯定感をもたせてほしい。

【体】 鍛え合う子

- ・ 運動の習慣化に向け、外遊びをしやすくなるようなさまざまな取組や、声かけをすることで、外遊びをする児童が増えたことは成果である。
- ・ 安全対策の様々な工夫がされている。また、委員会を通して児童に運動面や健康面について伝えることで、児童の意識がより高まったのではないかと。
- ・ メディアコントロール、情報モラルの指導が今後大きな課題になると思われる。家庭と学校とが連携して取り組んでほしい。
- ・ 体育でも自己の運動能力や技能の向上をめざした授業を行い、身体を動かすことが好きな児童を増やしてほしい。

〈学校関係者評価 総合所見〉

「聴ききる」が定着し、落ち着いて学習に向かっている。今年度より、「聴き合う」にレベルアップしたが、「聴き合う」「表現し合う」姿を教師と児童とで共有し意識して取り組んできたことで、大きな成果を上げている。今後、自分の考えを表現したり、広げたりする授業づくりに向けて、さらなる授業改善を目指してほしい。学校行事や委員会などで、児童が主体的に生き生きと活動したり、高学年が良いモデルとなって下学年に示したり伝えたりすることができている。運動や健康の習慣化について、様々な取組を実践している。あいさつやメディアとのつきあい方について、学校と家庭とが連携して取り組んでほしい。

皆様からいただいた貴重なご意見やご指摘を踏まえ、来年度の学校経営に生かしていこうと思います。

学校関係者評価を受けての来年度方向性

「聴き合う」「表現し合う」姿を、教師も児童も意識して取り組んできた成果が表れてきているので、引き続き**学び合いの授業作り**を行っていく。**生活科・総合的な学習の時間**で培ってきた学び方を**教科学習**にも生かしていく。ペアやグループ学習の充実を図るとともに、自分の意見を伝えることが苦手な児童への**具体的な手立て**を考えて実行していきたい。

学校行事や委員会活動等で、**子どもたち自身がPDCAサイクルを回す**ことを意識した取組を継続するとともに、児童が**主体的に活動**する場面を増やしていく。長欠不登校対策については、**各専門機関と連携**して、粘り強く取り組んでいきたい。

運動の呼びかけや取組を企画することで、外遊びをする児童が増えた。健康・安全な生活については、児童から全体に伝えていき、**自分事としての意識**を高めていきたい。**あいさつやメディアとのつきあい方**については、**学校と家庭、PTAと連携**して取組をしていく。